

口腔解剖学(含歯型彫刻)

講 師	小山田 常一 北 野 正 孝	実施時期 単 位 数	第 1 学年後期 3 単位 (4 5 時間)	実務経験	○
一般目標 (GIO)	顔面、口腔およびその周囲組織の成り立ちを理解するために、口腔とその周囲組織の構造と機能に関する基本的知識を習得する。				
授 業 概 要	ヒトの口腔周囲の構造(歯の形態を含む)について教授する。基本的に系統別に授業を行うが、適宜局所解剖の観点からの説明を行う。(1～15) 石膏棒を彫刻して歯の模型を作成し、歯の形態の立体的な理解を深める。(16～23)				
学 習 方 法	講義・DVD視聴・実習				
成績評価の方法	定期試験、出席状況等により総合的に評価する。(筆記試験90%、出席状況10%) 模型を解剖学的観点から採点する。(100%)				
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会(監) 歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の構造と機能「口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」 医歯薬出版				
履修上の注意	口腔解剖学、さらには他の多くの科目を学ぶ上で基礎となる科目である。 積極的な質問・議論を通して十分な理解が望まれる。				
参 考 書	全国歯科衛生士教育協議会(監) 歯科衛生学シリーズ 人体の構造と機能1「解剖学・組織発生学・生理学」医歯薬出版 歯の解剖学(金原出版)、分担解剖学(金原出版)、解剖学カラーアトラス(医学書院)				

授業計画

[1～15：小山田常一、16～23：北野正孝]

No.	授業項目	到達目標 (SB0s)
1	口腔を作る骨 I	顔面ならびに口腔を構成する骨を概説できる1。
2	口腔を作る骨 II	顔面ならびに口腔を構成する骨を概説できる2。
3	口腔領域に存在する筋肉 I	頭頸部の筋の構成と機能を概説できる1。
4	口腔領域に存在する筋肉 II	頭頸部の筋の構成と機能を概説できる2。
5	口腔領域に存在する脈管 I	頭頸部の脈管を概説できる1。
6	口腔領域に存在する脈管 II	頭頸部の脈管を概説できる2。
7	口腔領域を支配する神経 I	頭頸部の神経を概説できる1。
8	口腔領域を支配する神経 II	頭頸部の神経を概説できる2。
9	口腔領域の内臓 I	口腔領域の内臓を概説できる1。
10	口腔領域の内臓 II	口腔領域の内臓を概説できる2。
11	歯の形態ならびに構造 I	歯種別の形態と特徴を説明できる1。
12	歯の形態ならびに構造 II	歯種別の形態と特徴を説明できる2。
13	歯の形態ならびに構造 III	乳歯の形態と特徴を説明できる。
14	歯の形態ならびに構造 IV	歯列と咬合を概説できる。
15	まとめ	歯の異常形態を概説できる、他。
16 17	趣旨及び方法の説明、上顎中切歯	形態と機能を歯型彫刻をすることにより学習する。 歯牙を見て、即座にいずれかを判断できることを目標とする。
18 19	上顎犬歯、上顎第一小臼歯	
20 21	上顎第一小臼歯、上顎第一大臼歯	
22 23	上顎第一大臼歯、下顎第一大臼歯	